

大阪国際大学

■ 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

本学は、建学の精神と教育目的に共感し、次のような考えや目的を持った学生を求め
る。

1. 学修意欲を持ち、他者と協働できる社会性を身につけ、各々の分野で活躍するた
めに必要な基礎力を、積極的に身につけようとする意志を持つ人。
2. 人間や社会への関心と好奇心を有し、自身が学びたい分野を、自己の成長と将来の
可能性につなげ、活躍していきたいという強い意欲を持つ人。

人間科学部 心理コミュニケーション学科

■ 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

心理コミュニケーション学科では、学科の掲げる教育目的を踏まえ、次の者を幅広く
受け入れる。

1. 人間の心理と人とのコミュニケーションに関心を持っている人。
2. 人と社会を幸せにしたいと考えている人。
3. 将来の進路に向かって何事にも積極的に取り組む人。
4. 幅広く様々なことを学ぶ意欲がある人。

以上の項目を募集方針の要素として、教科・科目を設定して筆記試験を中心とする
一般選抜試験と、面接などを中心とする各種選抜試験を実施しているが、高等学校にお
ける学力の3要素である「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・
協働性」等を、それぞれの選抜試験において重みづけを行い評価する。

【高等学校等で履修・取得しておくことが望ましい科目分野・資格等】

1. 文献・資料を読んで、その内容を理解し、まとめることができる能力を有してい
ること。
2. 自分の考えを人前で話すことができる程度の国語、または、英語の基礎的な能力を
有していること。
3. 生徒会活動やボランティア活動などの諸課外活動を経験していることが望ましい。

人間科学部 人間健康科学科

■ 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

人間健康科学科では、学科の掲げる教育目的を踏まえ、次の者を幅広く受け入れる。

1. 「人間」、「社会」、「健康」に対する関心を持っている人。
2. 「心豊かに人生を生きる技と、社会人として必要な基礎的能力を身につける」という学科の理念に共感できる人。
3. 将来は、健康をはじめとしたさまざまな分野で、人々の幸せのために貢献しようとする意欲を持っている人。
4. 何ごとに対しても積極的に取り組み、常に自分を成長させていこうと考えている人。

以上の項目を募集方針の要素として、教科・科目を設定して筆記試験を中心とする一般選抜試験と、面接などを中心とする各種選抜試験を実施しているが、高等学校における学力の3要素である「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」等を、それぞれの選抜試験において重みづけを行い評価する。

【高等学校等で履修・取得しておくことが望ましい科目分野・資格等】

保健体育・家庭科及び生物の各分野の基礎的な内容を理解していること。

人間科学部 スポーツ行動学科

■ 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

スポーツ行動学科では、学科の掲げる教育目的を踏まえ、次の者を幅広く受け入れる。

1. 本学科の特性を理解し、勉学と課外活動を両立できる人。
2. スポーツ教育、健康・スポーツ指導、スポーツマネジメントに興味・関心がある人。
3. 将来の進路に向かって何事にも積極的に取り組む人。
4. 幅広く様々なことを学ぶ意欲があり、地道に継続した努力を惜しまない向上心のある人。

以上の項目を募集方針の要素として、教科・科目を設定して筆記試験を中心とする一般選抜試験と、面接などを中心とする各種選抜試験を実施しているが、高等学校における学力の3要素である「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」等を、それぞれの選抜試験において重みづけを行い評価する。

【高等学校等で履修・取得しておくことが望ましい科目分野・資格等】

体育及び保健の基礎的な内容をよく理解していること。

国際教養学部 国際コミュニケーション学科

■ 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

国際コミュニケーション学科では、学科の掲げる教育目的を踏まえ、次の者を幅広く受け入れる。

1. 語学力と行動力をもって国際社会で活躍したいと考えている人。
2. 多文化に関心を持っている人。
3. 基本的な言語コミュニケーションができること。
4. 将来の進路に向かって何事にも積極的に取り組む人。

以上の項目を募集方針の要素として、教科・科目を設定して筆記試験を中心とする一般選抜試験と、面接などを中心とする各種選抜試験を実施しているが、高等学校における学力の3要素である「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」等を、それぞれの選抜試験において重みづけを行い評価する。

【高等学校等で履修・取得しておくことが望ましい科目分野・資格等】

1. 国語や英語に興味を持ち高校レベルの基礎的な学力を有していること。
2. 積極的に実用英語技能検定、GTEC[®]、TOEIC[®]などの資格を取得しようとする意欲を有していること。

国際教養学部 国際観光学科

■ 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

国際観光学科では、学科の掲げる教育目的を踏まえ、次の者を幅広く受け入れる。

1. 多文化や日本文化に関心を持っている人。
2. 観光やホスピタリティに関連するビジネスに関心を持っている人。
3. 文化・芸術・エンタテインメントに関連するビジネスに関心を持っている人。
4. 基本的な言語コミュニケーションができること。
5. 将来の進路に向かって何事にも積極的に取り組む人。

以上の項目を募集方針の要素として、教科・科目を設定して筆記試験を中心とする一般選抜試験と、面接などを中心とする各種選抜試験を実施しているが、高等学校における学力の3要素である「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」等を、それぞれの選抜試験において重みづけを行い評価する。

【高等学校等で履修・取得しておくことが望ましい科目分野・資格等】

1. 国語や英語に興味を持ち高校レベルの基礎的な学力を有していること。
2. 地理や歴史分野の基礎的な学習内容を理解し、地理や歴史に関する検定などを受ける意欲を有していること。

経営経済学部 経営学科

■ 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

経営学科では、経営学の専門知識のみならず、経営を取り巻く社会の広い知識を身に

つけ、総合的な視野から社会の発展に貢献できる人材を養成することを目指す。このために、次のような者を幅広く受け入れる。

- (1) 経営学科での履修に必要な基礎学力を持ち、企業経営・マーケティング・ベンチャービジネス・スポーツビジネスに関わる学修に意欲を持つ人。
- (2) 絶えず変化する社会の中であって、自らの思考能力、コミュニケーション能力を磨き、時代の先端を歩む意欲を持つ人。
- (3) 持続可能性が求められる産業・経済社会であって、現場の課題を発見し、情報を収集し、的確に判断し、問題を解決しようする意欲を持つ人。

以上の項目を募集方針の要素として、教科・科目を設定して筆記試験を中心とする一般選抜試験と、面接などを中心とする各種選抜試験を実施しているが、高等学校における学力の3要素である「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」等を、それぞれの選抜試験において重みづけを行い評価する。

ただし、経営学科に入学するために、経営学の特別な基礎知識は必要としない。大学で学ぶにふさわしい意欲と基礎学力を備えた人材であれば、すべての人を歓迎する。

【高等学校等で履修・取得しておくことが望ましい科目分野・資格等】

- (1) 地理歴史分野及び公民分野の基礎的な内容を理解し、国内外の経営経済の動向や事情に関心を持っていること。
- (2) 国際化する地域社会を理解し、各種資料を分析するための基礎能力として、国語、英語、数学についても幅広く学修していること。
- (3) 簿記検定、情報処理検定、パソコン検定、電卓検定、珠算検定、暗算検定などの、企業経営・企業会計に関わる資格を取得していること。
- (4) 特別活動・課外活動に積極的に参加することにより、自主的・協調的態度によるチームワークと奉仕の心を理解していることが望ましい。

経営経済学部 経済学科

■ 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

経済学科では、経済学のみならず、経営学や情報、さらには法律や行政分野を含めた広い知識を身につけ、総合的な視野から経済社会や地域社会の発展に貢献できる人材を養成することを目指す。このために、次のような者を幅広く受け入れる。

- (1) 国際化する経済社会や地域社会に関心を持ち、自主的・主体的にその問題解決に取り組もうとする強い意志を有している人。
- (2) 行政・経済・税務に関わる公務員や、公共団体・NPO 法人の職員、ファイナンシャルプランナーなどの金融・保険関係の専門家・責任者として活躍したいと考えている人。
- (3) 経済学を中心とする幅広い分野の学問を修めるなど、将来の進路に向かって何事にも積極的に取り組む人。

以上の項目を募集方針の要素として、教科・科目を設定して筆記試験を中心とする一般選抜試験と、面接などを中心とする各種選抜試験を実施しているが、高等学校における学力の3要素である「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」等を、それぞれの選抜試験において重みづけを行い評価する。

ただし、経済学科に入学するために、経済学の特別な基礎知識は必要としない。大学で学ぶにふさわしい意欲と基礎学力を備えた人材であれば、すべての人を歓迎する。

【高等学校等で履修・取得しておくことが望ましい科目分野・資格等】

- (1) 資料を読み解き、自らの考えを表現するとともに、他者との円滑なコミュニケーションを図るために、国語の基礎的能力を有していること。
- (2) 経済社会における諸現象の統計的解析や、論理的思考の基礎となる数学について、基本的な内容を学修していること。
- (3) 新聞・ニュース報道等を通じて、経済学科が対象としている社会の諸問題に関心を持つとともに、これらを探求するための基礎としての地理歴史・公民について幅広く学修していること。
- (4) 特別活動・課外活動等に積極的に参加することにより、自主的・協調的態度によるチームワークと奉仕の心を理解していることが望ましい。

グローバルビジネス学部（平成29年度以前入学生）

■ 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

グローバルビジネス学部は、学部・学科の掲げる教育目的を踏まえ、次の者を幅広く受け入れる。

1. 将来、企業などの第一線で活躍するビジネスリーダーを目指している人。
2. マーケティング、商品企画、広告、販売など広く経営のことに興味を持っている人。
3. 海外の事情に興味を持っている人。
4. 海外で活躍する意欲のある人。

以上の項目を募集方針の要素として、教科・科目を設定して筆記試験を中心とする一般選抜入学試験と、面接などを中心とする各種入学試験を実施しているが、高等学校における基礎学力の「知識・技能」「態度・志向性」「創造的思考力」等を、それぞれの入学試験において重みづけを行い評価している。

【高等学校等で履修・取得しておくことが望ましい科目分野・資格等】

1. 地理歴史分野および公民分野の基礎的な内容を理解し、ビジネスの動向や海外の事情に関心を持っていること。さらに、社会、国語、外国語についても幅広く学習していること。
2. 生徒会活動やボランティア活動などの諸課外活動を経験していることが望ましい。

■ 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

修士課程においては、国際社会・情報社会において急速に進展する実業界の中で、即戦力として活躍できる企業経営の中核を担う管理職に就くことを望む者を受け入れる。独創的な研究計画を持ち、論理的な思考力と知的好奇心を保持していることを判定する。

博士（後期）課程においては、修士課程で修得した専門的知識をさらに深め、国際的経営の実務に直結した経理・経営分析・税務・情報等の技術を駆使し、高度な専門的職業に就くことを望む者を受け入れる。研究計画の実現性が可能で、その成果が各専門分野において重要な役割を果たすかを判定する。